

教えて R



図書館でRといえば、レファレンス・ブック(Reference book)のこと。日本語では参考図書と言われています。調べるための本、辞典・事典、年表や図鑑、目録などを指し、普通、これらは貸し出しができません。みなさんはこのレファレンスブックを使ったことがありますか？ここでは、参考図書の使い方、奥深さをお伝えしたいと思います。何か調べるときに、図書館にはこういう本があるのだということを知っていると便利です。

『角川日本地名大辞典』 「角川日本地名大辞典」編纂委員会／編 角川書店 R291.03/カ/

全国47都道府県別に、地名を網羅。現在だけでなく、過去にさかのぼって地名の由来や、歴史を知ることができます。近年、過去の災害と地名の関連性などがニュースで取り上げられることもあります。自分が住んでいる場所の地名について、一度調べてみると、思いがけない歴史を知って驚くことがあるかもしれません。埼玉県は第11巻です。

窓際閲覧席(26席)の 利用について

午前9時20分に利用希望者が20名を超えた場合、座席札を配布します。市内在住の方を優先いたしますので住所の確認ができるものをご持参ください。また、**混雑時に30分以上離席された場合、荷物をお預かりすることがあります。**

赤ちゃんタイム実施のお知らせ

毎月第2金曜日の10時から12時まで赤ちゃんタイムを実施しています。幼いお子さんを連れた方に気兼ねなく図書館を利用していただくという時間です。この時間帯には赤ちゃんの声が館内に響く場合がありますが、ご理解・ご協力をお願いいたします。

閉館時の返却について

緑町中央公園の向いにある児童館側駐輪場の壁沿いに返却口がありますので、閉館時はそちらにお入れください。
視聴覚資料や他の市町村から借り受けた本は直接カウンターまでご返却下さい。

●編集後記●

今年もあっという間に一年が過ぎ去ろうとしています。

毎年、年の初めに一年の目標のようなものを漠然と思うのですが、この時期になると「来年は頑張ろう」と反省することばかりです。皆さんは、今年の目標は果たせましたか？うまくいった人も、思うようにいかなかった人も、また新しい一年がやってきます。新しい年が、それぞれのみなさんにとって良い年になりますように。

そして、この寒い季節を、風邪などひかず元気に過ごし、しっかりと乗り切ってくださいね。

《読むトコ》ティーンズ版 第8巻第3号

発行日：2019年11月15日

編集・発行：所沢市立所沢図書館
新所沢分館

〒359-1111 所沢市緑町1-8-3

☎04-2929-1905

開館時間 火曜～金曜 9:30～21:00

土日祝 9:30～17:00

休館日 毎週月曜日・月の最終水曜日
(月曜日が祝日の場合は翌火曜日)

指定管理者 株式会社ヴィアックス

所沢市立所沢図書館新所沢分館 図書館だより

読むトコ 【ティーンズ版】

第8巻第3号(2019.11)

年末年始・祝祭の季節

冷たく澄んだ冬の空気を感じるようになりました。寒さ厳しい季節ですが、クリスマスやお正月など祝祭の多い華やかな季節でもあります。そこで今号では、美しい言葉、写真、イラストがふんだんに使われた、行事に関する本や季節を楽しく過ごすために役に立つ本を紹介します。

「日本の美しい食卓歳時記」

JTAA ジャパンテーブルアーティスト協会／著
誠文堂新光社 383.81/ニ

お正月を中心に年中行事を解説。お雑煮や季節の料理・食卓の写真が美しく、目を奪われます。全国のお雑煮の特徴や、しきたりやいわれ等の説明が日英対訳で掲載されています。外国の方に日本のお正月を説明するときにも役立ちますね。

「おとなも学べるこども礼儀作法」

尾崎文春／著 少年写真新聞社 38

大人でも礼儀作法が身につけていると、自信をもっては言えないものです。行事や祝いの場では、立ち居振る舞いやマナーなどをあらかじめ知っておくと、緊張せずに楽しむことができます。この本で分かりやすく知ることができるので、家族みんなで楽しく礼儀作法を学んでみませんか。

「美しい暦のことば」

山下景子／著
インテックス・コミュニケーションズ 449.34/ヤ

この本で紹介されている二十四節気、七十二候。季節を表す言葉はいずれも美しく、声に出してみれば情景を感じられます。「朔風払葉(キタカゼコノハヨハラウ)」「閉塞成冬(ソラサムクフユナル)」など、ロザさむと思わず身をすくめてしまいそうです。

「サンタクロースって何してるんでしょうか？」

フランシス=P=チャーチ／著 中村妙子／訳
東逸子／画 偕成社 38

「サンタクロースって何してるんでしょうか？」一人の少女の問いに、新聞記者が答えます。長く読み継がれている、アメリカで実際にあったお話です。大人が答えるのは難しいこの質問。どんな答えが少女に贈られたのでしょうか？

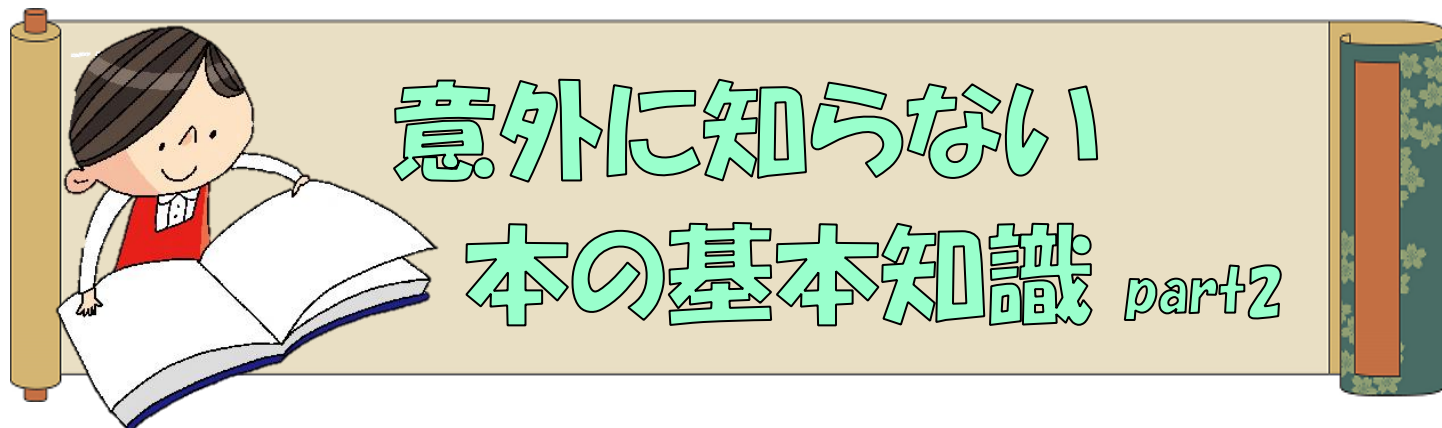
他にも、暦の本、編み物の本、季節の料理の本、お正月やクリスマスの絵本、百人一首の本、季節のカードや手紙の作り方の本等もあります。探したい本が見つからないときはカウンターで相談して下さいね。

CHECK! 冬が舞台の、おすすめの物語

「箱庭図書館」乙一／著 集英社 B913.6/イ

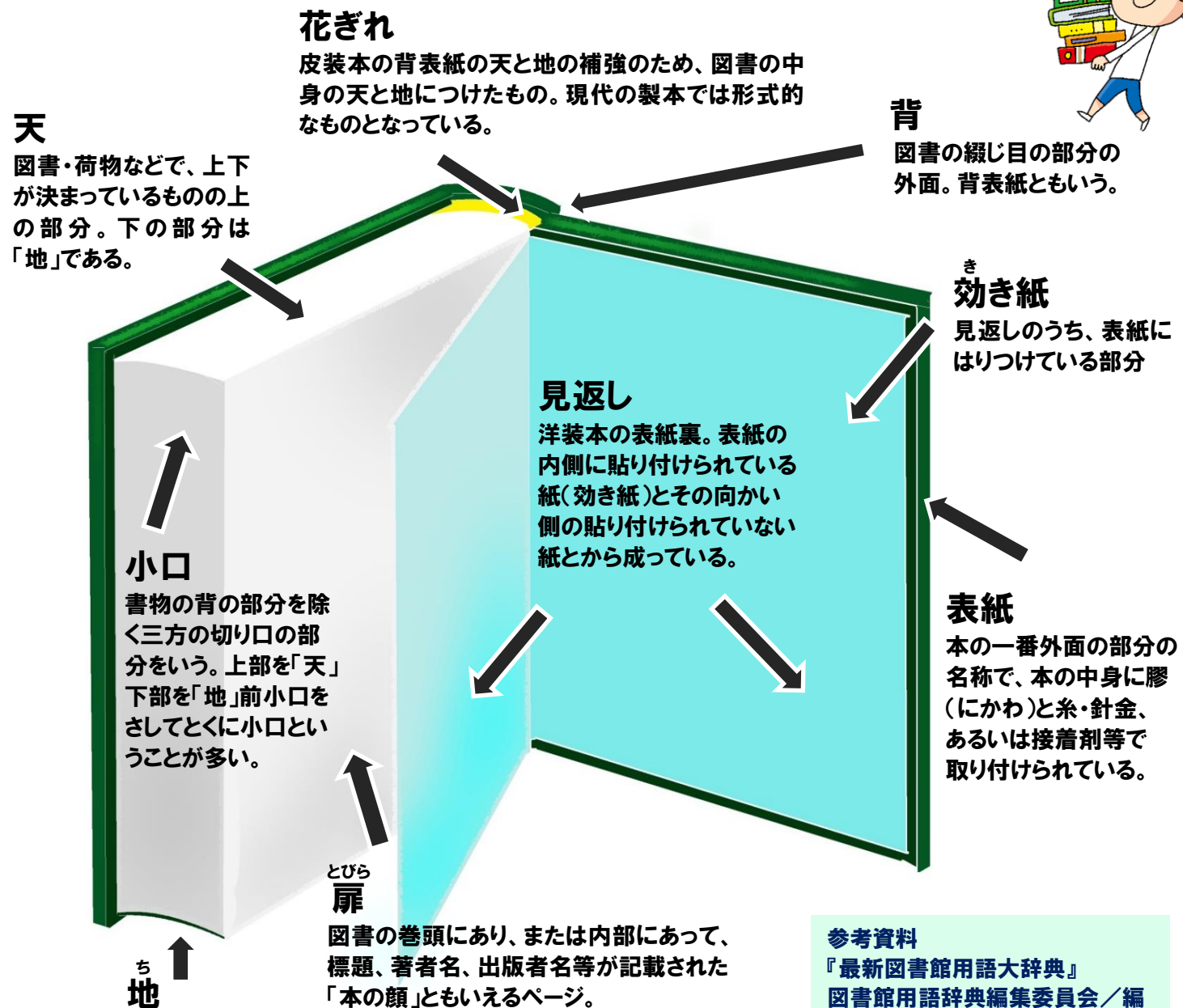
この本に収録されている「ホワイト・ステップ」という短編は、雪が積もった日に起きた不思議な出来事のお話です。雪が積もって消えるまでの、かけがえのないわずかな時間の物語。雪が積もるたびに読み返したくなります。





本はそれぞれの部分にも名前があります

私たちの身体の部位に、「目」「耳」「手」「足」とそれぞれの名前があるように本にも部分ごとに名前があります。なるほど、と思う名前もあれば、なんでこの名前なの？と感じる名前もあります。日頃はあまり気にする機会のない本の構造。この機会に本を手にとって観察してみませんか。装丁した人のこだわりや、本ごとの違いなど、面白い発見が待っているかもしれません。

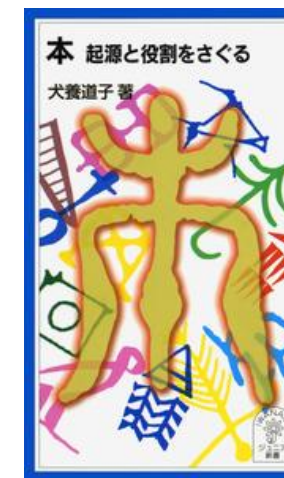


参考資料
『最新図書館用語大辞典』
図書館用語辞典編集委員会／編
柏書房

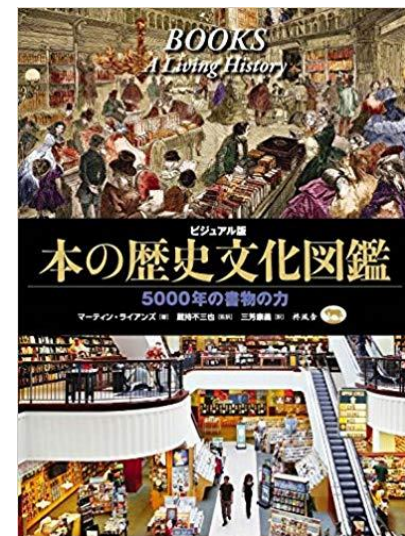
本のことを、もっと知る

意外に知らない本の基本知識ということで、本のそれぞれの部分の名前を紹介しました。次に紹介するのは、本の歴史について知ることが出来る本です。皆さんは毎日何かしらの本を読むと思いますが、その本の歴史についてはあまり気にしたことがないのではないのでしょうか？

「本」起源と役割をさぐる
犬養道子／著 岩波書店 Y02



人間が自分を知り、世界を知る、そのために大きな役割を果たしてきた「本」その歴史は、いつ、どのように始まったのでしょうか？数千年前にさかのぼり、粘土板や動物の骨に文字を刻み始めてから、今私たちの良く知る紙の本が発明され、誰でも手に取れるようになっていったのか。本の歴史を通して、人間と本との関わりを考えさせられる本です。



「本の歴史文化図鑑」
マーティン・ライアンズ／著 蔵持不三也／監訳
三芳康義／訳 終風舎 020.2/7

書物の歴史を、色鮮やかなカラー図版と興味深い章立てで、目にも楽しく、わかりやすく知ることが出来る本です。デジタル資料やマンガの普及等、本が時代によって社会に影響を与え、その社会によって本も姿を変えてゆく様子も解説されています。本の歴史を知るとともに、これから先の時代の、本の行く末に思いをはせる事ができます。

「本にまつわる世界のことば」
温又柔／著 斎藤真理子／著 中村菜穂／著 藤井光／著
藤野野織／著 松田青子／著 宮下遼／著 長崎訓子／絵
創元社 804/＃

日本には「本の虫」等の言葉がありますが、世界にも「本にまつわることば」は沢山あります。その多様さに、人と本との長い歴史と、深い関わりを感じます。言葉に添えられたイラストとエッセイも美しい一冊です。本と関わり、その関わりを言葉にし、そしてその言葉をまた本にする。この本の存在に、本と人との関わりのおもしろさを感じます。

